

社会福祉法人九戸村社会福祉協議会令和7年度事業計画

現在九戸村は、人口減少が顕著に進み、令和 6 年 12 月末時点で 5,084 名、昨年同時期より 157 名減少し、毎月平均 13 名程度の人口減少となっております。さらに、少子高齢化が進み、令和 6 年 12 月末時点では高齢化率 46.4%、後期高齢者（75 歳以上）の占める割合は 26.3%という状況にあります。出生数も 13 名（令和 6 年度出生予定 18 名）と少ない状況が続いております。

また、家庭や地域でのつながりの希薄化が進み、社会的孤立や経済的生活困窮、8050問題、さらに9060問題など住民が抱える課題は、複雑化多様化しております。さらに、自然災害等へ備えるための体制づくりの重要性も増しております。このような状況のなか、地域で生活するすべての人が安心して生活できる地域づくりが急務となっています。

このような現状を踏まえ、村の第2期地域福祉計画を念頭に「ともに生き、ともに育み、安心して暮らせる地域社会を目指して」を基本理念に、第2期の地域福祉活動計画（令和6年度～令和10年度）を作成いたしました。令和7年度は第2期地域福祉活動計画の2年度目にあたり、新しい事業を実施するとともに、既存事業をさらに推進してまいります。

また、専門職の配置（福祉活動専門員）、職員の資質向上など福祉人材育成にも注力しながら、各関係機関との連携をさらに強化し事業を推進してまいります。

1. 法人運営事業

当協議会の基盤であり、法人運営の効率化・組織強化・事務局体制の充実強化・職員の資質向上を図るとともに、各部署との連携を強化し研修体制の充実に努めます。

- 一般会費収入目標額 1,330,000 円 普通会費(1世帯700円×1,900世帯)
- 社会福祉協議会運営補助金(村) 11,002,000 円
- 給与負担金収入(九戸村シルバー人材センター) 3,558,000 円
- 寄付金収入 250,000 円

2. 地域福祉事業

九戸村内に居住する寝たきり虚弱者や障がい者等の福祉向上を図るため、その活動を積極的に推進するとともに、定期的な通院に対する介護者の負担軽減を図るため、村からの委託を受けて、管内においての通院時で月２回を限度とし、車椅子仕様車、及びストレッチャー仕様車で移送サービスを実施します。

また、独居・高齢者世帯等の希望する方々に、週２回（水曜日・木曜日）安否確認を含め給食サービスを実施いたします。

- 移送サービス事業受託金収入 (村) 421,000 円
年間移送計画数 60 回
- 給食サービス事業受託金収入 (村) 2,074,000 円
給食サービス利用料収入 714,000 円 (350 円×2,040 食)

3. ボランティア活動推進事業

ボランティアの派遣調整を行うとともに、地区ボランティア活動の支援・援助を行い、地区住民のボランティア活動への参加を推進する。ボランティア研修・講習会を開催し、ボランティアの育成を図ります。また、学校に赴きキャップハンディ体験等

取り入れながら高齢者・障がい者への理解を深めていく活動を展開いたします。

また、ひとり暮らし高齢者の寝たきり・閉じこもり防止等を目的として、おでかけサロンをひき続き実施するほか、地域でのサロン活動支援にも努め、合わせて見守り活動を推進します。

- ボランティア活動推進事業受託金収入 (村) 4,378,000 円
- 主な実施事業 おでかけサロン (年 1 回)、子育てサロン (月 1 回)、福祉バザー (年 2 回)、声の広報、キャップハンディ講座、見守りネットワークの推進、地域ごとふれあいサロン (5 団体)、災害ボランティア講習会、ボランティア育成講習会

4. 水中ウォーキング事業

村からの受託事業で、水の浮力により足腰・膝等の負担を軽減し、腰痛や膝の痛みをもった高齢者等でも無理のない運動を行うことで体力の維持増進を図り、介護予防を目的として実施いたします。

- 水中ウォーキング事業受託金収入 (村) 7,478,000 円
 - ・ 週 2 回 (月曜日、木曜日開催、年開催回数 101 回 (述べ人数 1,010 人))

5. 生活管理指導員派遣事業

介護予防総合事業を実施することから、令和 7 年度は村からの受託の予定なし。

6. 訪問介護事業

介護保険認定者を対象とし、居宅において家事援助、身体介護等日常生活支援を実施いたします。

- 介護保険事業収入見込額 7,756,000 円
 - ・ 居宅介護料収入 5,909,000 円
 - ・ 介護予防日常生活支援総合事業収入 1,847,000 円

7. デイサービス事業

日常生活支援総合事業・介護保険認定者対象のデイサービスを実施いたします。

- 介護保険事業収入見込額 42,629,000 円
 - ・ 居宅介護料収入 22,843,000 円
 - ・ 介護予防日常生活支援総合事業収入 16,940,000 円
 - ・ 食費収入 (介護) 1,518,000 円 (3,036 食)
 - ・ 食費収入 (総合) 1,328,000 円 (2,656 食)

8. 総合福祉センター管理運営事業

村からの受託事業で、九戸村総合福祉センターの機能をより有効に活用し、住民がより多く様々な事業に参画できる拠点となるべく運営に取り組みます。

また、福祉センター 2 階の居住部門の管理運営も実施するとともに、総合相談窓口の機能も加えて運営してまいります。

- 総合福祉センター管理運営受託金収入 (村) 19,310,000 円
- 食事サービス料収入 (350 円×13,140 食) 4,599,000 円
- 電気利用料収入 (実費徴収年間分) 264,000 円

9. ひとり暮らし高齢者の集い事業

村からの受託事業で、「いきいきふれあい集会」を開催し、ひとり暮らし高齢者が一堂に顔を合わせ、歓談を通して孤独感の解消や相互の親睦を深め、老後の生活を豊かなものにすることを目的に実施いたします。

○ 在宅高齢者福祉事業受託金収入 (村) 399,000 円

10. 共同募金助成金事業

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金を原資として様々な福祉事業を展開してまいります。

○ 一般募金配分金収入 (赤い羽根) 1,306,000 円

自主財源繰入金 34,000 円 計 1,340,000 円

区 分	金 額	内 訳
老人福祉活動費	220,000 円	買い物支援事業 120,000 円
		おでかけサロン事業 50,000 円
		ヤクルト給付事業 50,000 円
障がい児・者福祉活動費	20,000 円	地域活動支援センターエール活動費
児童・母子福祉活動費	200,000 円	福祉協力校助成事業 90,000 円
		子育て支援 (サロン) 事業 30,000 円
		ベビーシートレンタル事業 40,000 円
		新入児童お祝い事業 (新) 40,000 円
地域福祉総合支援事業費	900,000 円	ボランティアセンター運営費 150,000 円
		ボランティア育成事業 70,000 円
		ボランティア連絡協議会助成 20,000 円
		除雪見守り活動事業 20,000 円
		ボランティア活動保険 100,000 円
		福祉大会開催事業 50,000 円
		リユース事業 40,000 円
		心配ごと相談事業 135,000 円
		広報事業 265,000 円
		総合相談事業 50,000 円
計	1,340,000 円	

○ 歳末たすけあい募金配分金収入 1,100,000 円

歳末たすけあい募金を原資として、村内各福祉施設及び村内の支援を要する各世帯へお見舞金の配分を実施します。配分金額・配分対象者については、歳末たすけあい配分委員会において決定いたします。

11. 九戸村福祉基金造成事業

村全体の福祉に活用することを目的として、各団体・個人等からの寄附金を福祉基金として積み立てを行います。

○ 令和7年度積立目標額 255,000 円

(令和7年2月末現在) 26,610,344 円

1 2. 助け合い金庫運営事業

生活上又は医療継続上、その他生計維持のために一時的に現金を必要とし、かつ他から融資を受けることのできない方を貸付対象として実施いたします。

- 令和7年度貸付予算額 700,000 円
- ・ 貸付限度額 1 件 50,000 円以内

1 3. 生活福祉資金運営事業

岩手県社会福祉協議会からの受託事業で、生活福祉資金貸付窓口業務を実施し、所得の少ない世帯、障がい者世帯、要介護者世帯、高齢者同居世帯に対して、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図ることを目的として実施いたします。また、大学・専修学校等への修学資金の貸し付けも実施します。

さらに、令和7年度においても特例貸付（コロナ）のフォローアップ支援等のため相談員を配置しながら、事業を実施してまいります。

- 生活福祉資金受託金収入 1,089,000 円(事務受託金)

1 4. 地域活動支援センター運営事業

障がい者の創作的な活動や生産活動、社会との交流促進など、さまざまな活動を支援する場としての地域活動支援センターを村から受託し運営いたします。

- 地域活動支援センター事業受託金収入 (村) 11,930,000 円
- ・ 利用定員 10 名

1 5. 障がい福祉サービス事業

障がい者が地域社会で自立した生活を送ることができるよう、居宅介護事業を実施します。

- 自立支援費給付費収入 456,000 円 (利用者4名で算定)

1 6. 学童保育事業

村からの受託事業で、勤労者世帯における小学校児童のうち、放課後等に保護を要する児童に対し、遊びや生活の場を提供し健全な育成を目的として実施いたします。

なお、令和7年4月からは、長興寺小学校空き教室にて実施します。

- 学童保育事業受託金収入 (村) 11,336,000 円

1 7. 高齢者就労支援事業

令和6年度まで、村からの受託事業として実施してまいりましたが、令和7年度より村から九戸村シルバー人材センターに直接補助金が交付され、運営されることとなりました。

よって、当協議会では、事務局分の人件費の負担を九戸村シルバー人材センターから法人運営事業において歳入し、事務局を配置しながら引き続き九戸村シルバー人材センターを支援してまいります。

1 8. 地域訪問支援事業

住民が住み慣れた地域で孤立することなく安心して、自分らしく暮らし続けることができるよう、安否確認や見守りによる生活課題の早期発見、必要なサービスや専門機関へのつなぎを目的として、世帯訪問を実施いたします。

また、地域での住民支え合いマップづくりを推進し、地域でのつながりや助け合いを推進します。

○ 九戸村地域訪問支援事業受託金収入 (村) 4,493,000 円

19. 居宅介護支援事業

介護認定者の意向、生活状況、身体状況等をもとにケアプランを作成し、又、それにもとづいて、指定サービス事業者との連絡調整を行います。

また、村からの受託事業で、災害時避難確保計画を作成いたします。

○ 居宅介護支援介護料収入 13,900,000 円

○ 受託事業収入 11,000 円

◇ その他の主な事業

- ・ 第2期九戸村地域福祉活動計画（令和6年度～令和10年度）2年度目の推進
基本理念「ともに生き、ともに育み、安心して暮らせる地域社会を目指して」
令和6年度から、新しい事業として下記のとおり実施しており、ひき続き事業を推進してまいります。

① 高齢者の生きがいづくり

ニュースポーツ研修会を開催します。

② 福祉教育の充実・・・将来の福祉の担い手づくり

ボランティア育成事業・・・ボランティア育成講習会等を開催します。

③ 子育て支援対策

ベビーシートレンタル事業、リユース事業によるベビーシートの利活用を行います。

④ 災害に備えた環境づくり

災害ボランティアセンター設置・運営に関する村との協定の締結により村と連携しながら進めてまいります。

⑤ 知りたい情報を得る仕組みづくり

SNSの活用・・・ホームページにLINEのリンクを追加し、LINEによる若い世代への情報を発信します。

<新しい取組>

① 子育て支援、SDGsの推進

- ・ 「おさがり交換会」を実施し、子育て世代の支援、親同士のつながりの形成、SDGsの推進を目的として実施します。

② 子育て支援、福祉の啓発活動・・・新入児童お祝い事業

- ・ 新入児童にお祝い品を贈呈し、社会福祉協議会、共同募金等、福祉への興味・関心を形成することを目的として実施します。

③ 災害に備えた環境・体制づくり

- ・ 急な災害に備え、人的・物的体制づくりをさらに進めてまいります。

・ 日常生活自立支援事業

高齢者や障がい者が地域で安心して生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きの援助や代行、また、それに伴う日常的金銭管理を実施いたします。

・ 福祉団体等への支援活動

団体事務局を行い、活発な活動につなげることを目的として支援活動を行います。

九戸村共同募金委員会事務局、九戸村老人クラブ連合会事務局、九戸村身体障害者協会事務局、九戸村ボランティア連絡協議会事務局、九戸村シルバー人材センター事務局